

BINOCULARS EQUIPPED WITH DIGITAL CAMERA

Laid-open publication No. JP 11 - 09743 A

Patent Number: JP11064743

Publication date: 1999-03-05

Inventor(s): TSUKAMOTO SHINJI; HIRUNUMA KEN; ENOMOTO SHIGEO

Applicant(s): ASAHI OPTICAL CO LTD

Requested Patent: ☐ JP11064743

Application Number: JP19970221825 19970818 (H 9 - 2 2 1 8 2 5)

Priority Number(s):

IPC Classification: G02B23/18 ; G02B23/02 ; G03B17/48 ; G03B19/02 ; H04N5/225

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide small-sized light-weight binoculars equipped with a digital camera having a simplified structure and capable of accomplishing a photographed image of high image quality by providing a storing medium for accumulating image data outputted from an image pickup element and a control means for controlling the storing medium so that only the image data outputted from the image pickup element may be partly accumulated.

SOLUTION: An image recording circuit 20 is provided with a system control part (control means) 26 which is electrically connected to a CCD image pickup element 14, an A/D converter 22, an image memory 23, an image processing part 24 and a main memory 25, respectively, and also, the circuit 20 is provided with a shutter release switch 27 which is electrically connected to the system control part 26. And all the image data recorded by a memory cell array is not recorded by the main memory 25. but, the only data in a circular area or a rectangular area is recorded by the main memory 25. Thus, the photographed image of high image quality not influenced by various aberration around an objective lens group is obtained, and also, the futile use of the memory of the storing medium is eliminated.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 対物光学系と接眼光学系を各々有する一対の観察光学系と；一方の観察光学系の光路内を通る光束の少なくとも一部を該光路外に反射させる反射手段と；この反射手段により上記光路外に反射された反射光束を、反射光学系を介さず直接受光する撮像素子と；この撮像素子から出力された画像データを蓄積する記憶媒体と；上記撮像素子から出力された画像データの一部のみを上記記憶媒体に蓄積させる制御手段と；を有することを特徴とするデジタルカメラ付き双眼鏡。

【請求項2】 請求項1に記載のデジタルカメラ付き双眼鏡において、撮像素子の受光面上には双眼鏡の視野範囲を超える観察物体像が結像され、制御手段は、上記観察物体像の画像データの上記視野範囲に相当する部分のみを記憶媒体に蓄積させるデジタルカメラ付き双眼鏡。

【請求項3】 請求項1または2に記載のデジタルカメラ付き双眼鏡において、さらに、他方の観察光学系における対物光学系と接眼光学系の間の光路内に配置されたNDフィルタを有するデジタルカメラ付き双眼鏡。

【請求項4】 請求項1ないし3のいずれか一項に記載のデジタルカメラ付き双眼鏡において、反射手段は、上記一方の観察光学系の光路内を通る光束の一部を該光路外に反射させて撮像素子へ導き、残りの光束を透過させるビームスプリッタであるデジタルカメラ付き双眼鏡。

【請求項5】 請求項1または2に記載のデジタルカメラ付き双眼鏡において、反射手段は、上記一方の観察光学系の光路内に進入した撮影位置と、該光路外に退避した非撮影位置との間で移動可能に支持され、上記撮影位置にあるとき、上記一方の観察光学系の光路内を通る光束を該光路外に反射させて撮像素子へ導く可動ミラーであるデジタルカメラ付き双眼鏡。

【請求項6】 請求項1ないし5のいずれか一項に記載のデジタルカメラ付き双眼鏡において、撮像素子はCCD撮像素子であるデジタルカメラ付き双眼鏡。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【技術分野】 本発明は、デジタルカメラを一体に有する双眼鏡に関する。

【0002】

【従来技術及びその問題点】 銀塩フィルム式カメラが付設された双眼鏡、所謂カメラ付き双眼鏡が知られている。このカメラ付き双眼鏡によれば、観察中の観察対象物を容易にかつ素早く撮影することができる。この従来カメラ付き双眼鏡では、左右一対の観察光学系の一方の光学系中にビームスプリッタが配設され、さらにこのビームスプリッタから出射する光束を入射させてフィルム面へ導くプリズムが配置されている。つまり、上記ビームスプリッタにより一方の観察光学系を通る光束の一部が該光学系外に導かれ、この外部に導かれた光束が上

記プリズムにより反射された後にフィルム面に導かれる構造となっている。

【0003】 フィルム面上に結ぶ像は、正立像または倒立像のいずれかである必要がある。上記ビームスプリッタにより観察光学系外へ導かれた光束による像は左右反転（裏返し）像となるため、上記プリズム等の反射光学系を用いて正立像または倒立像のいずれかにしている。

【0004】 以上のように、従来のカメラ付き双眼鏡では、1つのビームスプリッタと、少なくとも1つ以上のプリズム等の反射光学系を設ける必要があるため、装置が大型化してしまう。さらに従来のカメラ付き双眼鏡では、これらビームスプリッタやプリズムに加え、フィルム室、カートリッジ室、巻上げ機構、シャッター機構等の機械的要素を設ける必要があるため、装置の大型化は避けられない。

【0005】

【発明の目的】 本発明は、以上の問題点を鑑みて成されたもので、構造が簡単で小型軽量かつ高画質な撮影画像が得られるデジタルカメラ付き双眼鏡を提供することを目的とする。

【0006】

【発明の概要】 本発明は、対物光学系と接眼光学系を各々有する一対の観察光学系と；一方の観察光学系の光路内を通る光束の少なくとも一部を該光路外に反射させる反射手段と；この反射手段により上記光路外に反射された反射光束を、反射光学系を介さず直接受光する撮像素子と；この撮像素子から出力された画像データを蓄積する記憶媒体と；上記撮像素子から出力された画像データの一部のみを上記記憶媒体に蓄積させる制御手段と；を有することを特徴としている。

【0007】 つまり本発明を適用したデジタルカメラ付き双眼鏡は、上記反射手段により一方の観察光学系を通る光束の一部を該光学系外に導き、この導き出した光束を電子デバイスである撮像素子上に直接結像させる構成を有している。この構成によると、上記反射手段により上記光路外に反射された反射光束は撮像素子に直接入射するので、撮像素子上には左右反転（裏返し）像が結像される。しかし、この撮像素子上に結像された像の画像データを一時的に画像メモリー等へ書き込み、その後この一時的に書き込んだ画像データを予め設定した所定の読み出し順序で読み出せば、常に正立像としての画像を得ることができる。つまり、撮像素子の設置向き及び該撮像素子の撮像面に結像される像の向きがどのような向きであっても、その向きに対応した画像データの読み出し順序を予め設定しておけば常に正立像としての画像を得ることができる。よって上記本発明の構成によれば、撮像素子や各光学部材の配置の自由度が高く、また、上記反射手段と撮像素子との間にプリズム等の反射光学系を設ける必要がないため、装置の小型化及び軽量化を図ることができる。

【0008】さらに、この撮像素子から出力された画像データを蓄積する記憶媒体と；上記撮像素子から出力された画像データの一部のみを上記記憶媒体に蓄積させる制御手段と；を有する構成にしたので、例えば、上記撮像素子から出力された画像データ中、不必要な画像データ（例えば、対物光学系の周辺の諸収差の影響を受けた視野周縁部分に相当する画像データ部分、無露光部分に相当する不要な画像データ部分等）は記憶媒体に蓄積させない構成にすれば、記憶媒体のメモリを無駄に使うことがなく、よって記憶媒体の蓄積効率が向上する。したがって、撮像素子の撮像面上に双眼鏡の視野範囲を超える観察物体像が結像される場合には、制御手段は、上記観察物体像の画像データの上記視野範囲に相当する部分のみを記憶媒体に蓄積させる構成にするのが好ましい。

【0009】上記反射手段は、上記一方の観察光学系の光路内を通る光束の一部を該光路外に反射させて撮像素子へ導き、残りの光束を透過させるビームスプリッタから構成することができる。また上記反射手段は、上記一方の観察光学系の光路内に進入した撮影位置と、該光路外に退避した非撮影位置との間で移動可能に支持され、上記撮影位置にあるとき、上記一方の観察光学系の光路内を通る光束を該光路外に反射させる可動ミラーから構成することもできる。

【0010】

【発明の実施の形態】以下図示実施形態に基づいて本発明を説明する。図1は、本発明を適用したデジタルカメラ付き双眼鏡の第1実施形態を示している。このデジタルカメラ付き双眼鏡10は、ポロプリズム式双眼鏡にデジタルカメラを付設したタイプである。なお同図中では、デジタルカメラ付き双眼鏡10の観察光学系及び本

【0011】デジタルカメラ付き双眼鏡10は、一般的なポロプリズム式双眼鏡が有する左右一对の観察光学系、即ち対物レンズ群11L、ポロプリズム17L及び接眼レンズ群18Lからなる左側観察光学系と、対物レンズ群11R、ポロプリズム17R及び接眼レンズ群18Rからなる右側観察光学系とを有している。各ポロプリズム（正立光学系）17L、17Rの出射面と、対応の接眼レンズ群18L、18Rとの間には、視野絞り19L、19Rが固定されている。

【0012】各対物レンズ群11L、11Rは、対応の対物光軸 O_L 、 O_R に沿って前後方向に一体で移動可能に案内されており、デジタルカメラ付き双眼鏡10本体の略中央に設けた焦点調節環（図示せず）の回転に応じて前後移動する。つまり、該焦点調節環を適宜回転させると、対物レンズ群11L、11Rが前後に移動して焦点調節が行われる。

【0013】対物レンズ群11Rとポロプリズム17Rの間の光路 P_R 内には、ビームスプリッタ12が固定されている。このビームスプリッタ12は、二つの直角ブ

リズム12a、12bの各底面同士を接合してなるもので、一方の直角プリズムの接合面上に金属薄膜からなるハーフミラー（半透明鏡）12cが形成されている。ビームスプリッタ12は、外部から対物レンズ群11Rに入射した光束の一部がハーフミラー12cで反射し、残りの光束がハーフミラー12cを透過してポロプリズム17Rに入射するように、ハーフミラー12cの対物光軸 O_R に対する傾斜角を 45° に設定して光路 P_R 内に配置されている。このハーフミラー12cの対物光軸 O_R に対する傾斜角は、本実施形態での 45° のみに限定されず、任意の角度に設定することができる。

【0014】対物レンズ群11Lとポロプリズム17Lの間の光路 P_L 内には、NDフィルター16が固定されている。ビームスプリッタ12が設けられた観察光学系ではその接眼側に向かう光量がハーフミラー12cにより減じられるため、このNDフィルター16を設置することで左右の観察光学系での接眼側に向かう光量を均等に行している。

【0015】またデジタルカメラ付き双眼鏡10には、該双眼鏡で観察中の観察物体像を電気的な画像データとして撮像するためのCCD撮像素子14が設けられている。このCCD撮像素子14は、ビームスプリッタ12のハーフミラー12cにより光路 P_R 外に反射された光束（観察物体像）が直接その矩形的撮像面（受光面）14a上に結像するように、ビームスプリッタ12から所定長さ離れた位置に固定されている。ビームスプリッタ12とCCD撮像素子14の間には、プリズム等の反射光学系は設けられていない。

【0016】図1中、白抜き矢尻を有する矢印と黒塗矢尻を有する矢印からなる各像は、CCD撮像素子14に至るまでの観察物体像の各位置での向きを示している。これら各矢印の向きから、左右反転（裏返し）画像が撮像面14a上に結像されることが理解できる。また図1中、CCD撮像素子14の撮像面14a上に示す矢印Dは、走査起点及び走査方向を示している。この矢印Dの位置から分かるように、CCD撮像素子14の走査起点は、正立状態の観察物体像の右上の位置に対応している。

【0017】またデジタルカメラ付き双眼鏡10には、CCD撮像素子14を含む画像記録回路20が設けられている（図3参照）。画像記録回路20は、CCD撮像素子14、アンプ21、A/Dコンバーター22、画像メモリー23、画像処理部24、及びメインメモリー25を有している。さらに画像記録回路20は、CCD撮像素子14、A/Dコンバーター22、画像メモリー23、画像処理部24、及びメインメモリー25の夫々に電氣的に接続されたシステムコントロール部（制御手段）26と、このシステムコントロール部26に電氣的に接続されたシャッターレリーズスイッチ27とを有している。

【0018】シャッターリリーススイッチ27は、デジタルカメラ付き双眼鏡10本体に設けられたリリース鉤（図示せず）に連動して開閉される。システムコントロール部26は、シャッターリリーススイッチ27の状態に応じてCCD撮像素子14、アンプ21、A/Dコンバーター22、画像メモリ23、画像処理部24、及びメインメモリ25の各々を制御する。

【0019】リリース鉤を押下するとシャッターリリーススイッチ27がオンとなり、このシャッターリリーススイッチ27のオンによりシステムコントロール部26がCCD撮像素子14を駆動して撮像を開始する。CCD撮像素子14の光電変換により得られたアナログ画像信号は、アンプ21によって増幅された後A/Dコンバーター22に入力されてデジタル画像信号に変換される。続いてこの変換されたデジタル画像信号は、RAM等からなる画像メモリ23に一旦書き込まれる。このとき画像メモリ23に書き込まれるデジタル画像信号は、1画面分の左右反転画像の画像データとして書き込まれる。

【0020】この画像メモリ23へのデジタル画像信号の書き込みのとき、CCD撮像素子14の撮像面14aに結像される左右反転画像の水平走査による画像データが1対1で画像メモリ23に記録される。つまり、画像メモリ23のメモリーセルアレイ23a（図4）にも左右反転画像がビットイメージで記録される。画像メモリ23に記録される画像データは、矩形の撮像面14aの撮像有効範囲全域によって得られた矩形画像の画像データである。

【0021】続いて画像処理部24がこの画像メモリ23に書き込まれた画像データを読み出してγ補正、色補正、データ圧縮等の処理を行い、その後この圧縮処理等を施した画像データをメインメモリ25に書き込む。画像処理部24は、画像メモリ23からの画像データを読み出すとき、画像メモリ23のメモリーセルアレイ23aのアドレス指定を水平方向に書き込み時とは左右逆の順序で指定していくことで、左右反転画像の左右逆つまり正画像（非反転画像）として読み出す。メインメモリ25には、この正画像として読み出された画像が所定のアドレスに記録される。なおメインメモリ25は、フラッシュメモリ、磁気ディスク、光磁気ディスク等の記録媒体から構成することができる。

【0022】図4は、CCD撮像素子14の撮像面14aに結像される左右反転画像の水平走査による画像情報が、画像メモリ23のメモリーセルアレイ23aに左右反転画像のビットイメージとして1対1で記録される様子を示している。図4中の左図は、CCD撮像素子14の撮像面14aをその裏側から見た場合での水平走査の様子を示しており、図4中の右図は、この水平走査により得られた画像データを画像メモリ23のメモリーセルアレイ23aへ1対1で記録する様子を示してい

る。メモリーセルアレイ23aは、CCD撮像素子14の画素数に対応する記録セル数、即ち i （X方向での総セル数） $\times j$ （Y方向での総セル数）のセル数からなっている。

【0023】図5及び図6は、メモリーセルアレイ23aへの画像データの書き込み及び読み出しの処理を示すフローチャートである。メモリーセルアレイ23aへの画像データの書き込み開始時このフローチャートの処理に入る。まず、メモリーセルアレイ23aの書き込み位置（X、Y）を（0、0）に設定（イニシャライズ）し、続いてYに1を加え、さらにXに1を加えてメモリ書き込み位置を指定する（ステップS1～S4）。よって、メモリ書き込み開始時における書き込み位置（書き込み起点）は（1、1）に設定される。

【0024】ステップS4の後、Xが i （Xが最大）であるか否かを判断し、X= i でなければ即ちXが i 未満（ $X < i$ ）であればステップS3、S4の処理を再度実行し、X= i であれば続くステップS6に進んでXを0とする。

【0025】ステップS6の後、Yが j （Yが最大）であるか否かを判断し、Y= j でなければ即ちYが j 未満（ $Y < j$ ）であればステップS2～S6の処理を再度実行し、Y= j であれば続くステップS8に進む。以上のステップS1～S7までの処理により、メモリーセルアレイ23aへの画像データの書き込み位置の全ての指定が行われる。つまり、書き込み起点（1、1）から、（2、1）、（3、1）、・・・、（ i 、1）、（1、2）、（2、2）、（3、2）、・・・、（ i 、2）、（1、3）、（2、3）、・・・、（ i 、 j ）の順序でメモリーセルアレイ23aへの画像データの書き込み位置の全ての指定が行われる。A/Dコンバーター22から出力された画像データは、この書き込み位置の指定順にメモリーセルアレイ23aへ順次書き込まれる。

【0026】ステップS8では（X、Y）を（ $i+1$ 、0）に設定する。続いてYに1を加え、さらにXから1を減じてメモリ読み出し位置を指定する（ステップS9～S11）。よって、メモリ読み出し開始時における読み出し位置（読み出し起点）は（ i 、1）に設定される。この読み出し起点は、正立状態の観察物体像の左上の位置に対応している。

【0027】ステップS11の後、Xが1であるか否かを判断し、X=1でなければステップS10、S11の処理を再度実行し、X=1であれば続くステップS13に進んでXを $i+1$ とする。

【0028】その後Yが j （Yが最大）であるか否かを判断し、Y= j でなければ即ちYが j 未満（ $Y < j$ ）であればステップS9～S13の処理を再度実行し、Y= j であれば本フローチャートの処理を終了する。以上のステップS8～S14までの処理により、メモリーセ

ルアレイ23aへの画像データの読み出し位置の全ての指定が行われる。つまり、読み出し起点(i, 1)から、(i-1, 1), (i-2, 1), ..., (1, 1), (i, 2), (i-1, 2), (i-2, 2), ..., (1, 2), (i, 3), (i-1, 3), ..., (1, j)の順序でメモリーセルアレイ23aへの画像データの読み出し位置の全ての指定が行われる。この読み出し順序により、メモリーセルアレイ23aから読み出される画像データは左右が反転していない正画像の画像データとなる。

【0029】画像処理部24は、画像メモリー23に書き込まれた画像データを読み出すとき、撮像面14aの撮像有効範囲全域によって得られた矩形画像の画像データの良像範囲の画像データのみを読み出す処理を行う。この読み出し処理を、図7及び図8を参照して以下に説明する。

【0030】図7は、メモリーセルアレイ23aに記録された画像データを示している。同図中、破線で囲まれた円形領域Aは、対物レンズ群11Rの周辺の諸収差の影響を受けていない良像を含む画像データ領域であり、円形領域A外に位置する斜線領域Bは、対物レンズ群11Rの周辺の諸収差の影響を受けた視野範囲外に相当する画像データ領域を示している。画像処理部24は、メモリーセルアレイ23aに記録された画像データから円形領域A内の画像データのみを読み出す。図8は、この読み出した円形領域Aの画像データのみを示している。デジタルカメラ付き双眼鏡10の観察光学系を通して観察される視野は円形の視野であり、円形領域Aの形状は、この円形の視野範囲に対応させて設定されている。

【0031】円形領域A内の画像データは、次の条件を満たす円内部の画像データとなる。

中心座標: $(i/2, j/2)$

半径: r

【0032】円形領域Aと斜線領域Bの境界線(円)の位置座標(X, Y)は、次の条件で与えられる。

$$(X - i/2)^2 + (Y - j/2)^2 = (j/2)^2$$

(但し、X, Yは各々整数)

【0033】以上の処理によってメモリーセルアレイ23aから読み出した円形領域A内の画像データが、上述した r 補正、色補正、データ圧縮等の実施後メインメモリー25に記録される。

【0034】本実施形態のように、デジタルカメラ付き双眼鏡10の観察光学系を通して観察される視野が円形の場合、CCD撮像素子14の画素を効率よく使用するためには、円形領域Aの円が、撮像面14a(メモリーセルアレイ23a)の長辺に略内接するような光学系構成であることが好ましい。即ち、 $2r = j$ となるような光学系構成であることが好ましい。

【0035】デジタルカメラ付き双眼鏡10の観察光学系を通して観察される視野が上記実施形態のように円形

ではなく横長矩形の視野(例えば、16:9のハイビジョンサイズの視野)として形成される場合には、画像処理部24は、上述した円形領域A内の画像データから、横長矩形の視野に対応する横長矩形の画像データのみを読み出す処理を行う。この処理を、図9及び図10を参照して以下に説明する。

【0036】図9中、円形領域Aに内接する破線で囲まれた横長矩形の矩形領域Dが、横長矩形の視野に対応する画像データ領域であり、画像処理部24は、メモリーセルアレイ23aに記録された画像データから矩形領域D内の画像データのみを読み出す。図10は、この読み出した矩形領域D内の画像データのみを示している。

【0037】読み出される矩形領域D内の画像データは、図9中の縦y画素、横x画素からなる領域内の画像データであり、CCD撮像素子14の画素を効率よく使用するためには、矩形領域Dの画角(対角線)の長さが円形領域Aの円の直径(2r)と等しいのが好ましい。

【0038】以上の図9及び図10を参照して説明した画像処理部24の読み出し処理によっても、図7及び図8を参照して説明した画像処理部24の読み出し処理の場合と同様の効果を得ることができる。

【0039】以上のように、本発明を適用した第1実施形態のデジタルカメラ付き双眼鏡10は、ビームスプリッタ12とCCD撮像素子14の間にプリズム等の反射光学系を一切必要としない。よって、プリズム等の反射光学系を必要としない分、装置本体の小型化及び軽量化が図られている。

【0040】さらに、メモリーセルアレイ23aに記録した画像データの全てをメインメモリー25に記録せず、上述した円形領域Aまたは矩形領域D内の画像データのみをメインメモリー25に記録する構成にしたので、対物レンズ群11Rの周辺の諸収差の影響を受けていない高画質の撮影画像が得られ、また記憶媒体のメモリを無駄に使うことがない。

【0041】上記第1実施形態のデジタルカメラ付き双眼鏡10は、正立光学系としてポロプリズムを利用するポロプリズム式双眼鏡の観察光学系を有するものであるが、各ポロプリズム17L、17Rをダハプリズムに代えてダハプリズム式双眼鏡の観察光学系を有する構成にしても同様の効果が期待できる。

【0042】図2は、本発明を適用したデジタルカメラ付き双眼鏡の第2実施形態を示している。この第2実施形態のデジタルカメラ付き双眼鏡30は、正立光学系としてダハプリズムを利用するダハプリズム式双眼鏡の観察光学系を有している。

【0043】デジタルカメラ付き双眼鏡30は、一般的なダハプリズム式双眼鏡が有する左右一対の観察光学系、即ち対物レンズ群31L、ダハプリズム32L及び接眼レンズ群34Lからなる左側観察光学系と、対物レンズ群31R、ダハプリズム32R及び接眼レンズ群3

4 Rからなる右側観察光学系とを有している。各ダハプリズム32L、32Rの出射面と、対応の接眼レンズ群34L、34Rとの間には、視野絞り38L、38Rが固定されている。

【0044】この第2実施形態では、一方のダハプリズムの複数ある反射面の一面をハーフミラー化し、このハーフミラー化した反射面に上記第1実施形態でのハーフミラー12cと同様の機能を持たせている。

【0045】即ち、図2に示すように、右側観察光学系のダハプリズム32Rの複数ある反射面の一つが、ハーフミラー32aとして形成されている。このハーフミラー32aは、対物レンズ群31R側から入射した光束の一部を反射し、残りの光束を透過させて観察光路外に導く。そしてこの光路外に導かれた光束（観察物体光束）は、ダハプリズム32Rから所定長さ離れた位置に固定されたCCD撮像素子14の撮像面14a上に結像する。

【0046】左側観察光学系の対物レンズ群31Lとダハプリズム32Lの間には、第1実施形態のカメラ付双眼鏡10と同様に、左右の観察光学系での接眼側に向かう光量を均等にするためのNDフィルター16が固定されている。

【0047】またデジタルカメラ付き双眼鏡30には、デジタルカメラ付き双眼鏡10と同様に、CCD撮像素子14を含む画像記録回路20（図3）が設けられている。この画像記録回路20による制御態様は、上述したデジタルカメラ付き双眼鏡10と同様に行われる。

【0048】以上のように、本発明を適用した第2実施形態のデジタルカメラ付き双眼鏡30では、ダハプリズム32Rにハーフミラー32aを設ける構成にしたので、該ハーフミラー32aを設けるための専用の光学部材や、この光学部材とCCD撮像素子14の間にプリズム等の反射光学系を必要としない。よって、第1実施形態のデジタルカメラ付き双眼鏡10よりも更に装置本体の小型化及び軽量化を図ることができ、またコストダウンを図ることができる。

【0049】以上の各実施形態では、メモリーセルアレイ23aの読み出し起点を(i, 1)に設定し、この起点から(i-1, 1), (i-2, 1), ... ,

(1, 1), (i, 2), (i-1, 2), (i-2, 2), ... , (1, 2), (i, 3), (i-1, 3), ... , (1, j)の順序でメモリーセルアレイ23aへの画像データの読み出し位置の指定を行う構成にしたが、本発明はこの読み出し位置指定の順序に限定されない。CCD撮像素子14の設置向き及び撮像面14aに結像される像の向きの違いにより、メモリーセルアレイ23aの読み出し起点と、この読み出し起点からの読み出し方向とを、読み出し後の画像データが正立像の画像データになるように適宜設定すればよい。

【0050】例えば、撮像面14aに結像される像が左

右反転の倒立像の場合には、メモリーセルアレイ23aの読み出し起点を(1, j)とし、この起点から(2, j), (3, j), ... , (i, j), (1, j-1), (2, j-1), (3, j-1), ... , (i, j-1), (1, j-2), ... ,

(i, 1)の順序でメモリーセルアレイ23aへの画像データの読み出し位置の指定を行う構成にすれば、読み出し後の画像データは正立像の画像データとなる。

【0051】また上記各実施形態では、左右の観察光学系の間にデジタルカメラ部の構成部品（アンプ21、A/Dコンバーター22、画像メモリー23、画像処理部24、メインメモリー25、ステムコントロール部26等）を配置することで、装置全体を扁平な形状に構成して小型化を図ることができる。

【0052】上記第1実施形態のビームスプリッタ12に代えて、ハーフミラー12cと同機能を有するペリクルミラーを設ける構成にしてもよい。

【0053】また上記第1実施形態のビームスプリッタ12に代えて、光路P_i内に進出した撮影位置と光路P_i外に退避した非撮影位置との間で移動可能に支持され、撮影位置にあるとき、対物レンズ群11Rから光路P_i内に進出した光束を撮像面14aに向けて反射させる可動ミラーを用いる構成にしてもよい。図11は、この構成（第3実施形態）を示している。

【0054】この図7に示すデジタルカメラ付き双眼鏡10'は、第1実施形態のデジタルカメラ付き双眼鏡10のビームスプリッタ12を、可動ミラー1に置き換えたものであり、他の構成は第1実施形態と略同様である。可動ミラー1は、一方の観察光学系の光路P_iの上方に位置しかつ対物光軸O_i、O_i'の各々に対して略直交する方向に延びる回動支軸2にその一端部が固定されており、対物レンズ群11Rとボロプリズム17Rの間の光路P_i内に進出した撮影位置（図11中に実線で示す位置）と、該光路P_i外に退避した非撮影位置（図11中に一点鎖線で示す位置）との間で回動可能に設けられている。

【0055】デジタルカメラ付き双眼鏡10'の光路P_iと光路P_i'の間には、ミラー駆動モーター3が固定されており、回動支軸2は、この駆動モーター3の回転軸として備わっている。したがって、可動ミラー1は、駆動モーター3の正逆の回転によって撮影位置または非撮影位置いずれかの位置に移動される。システムコントロール部26は、シャッターリリーススイッチ27のオンによりミラー駆動モーター3を起動して可動ミラー1を非撮影位置から撮影位置に移動させ、この移動完了直後、CD撮像素子14を駆動して撮像（露光）を開始する。この撮像完了後、システムコントロール部26は、再びミラー駆動モーター3を起動して可動ミラー1を撮影位置から非撮影位置へ退避させる。このような構成を有する第3実施形態のデジタルカメラ付き双眼鏡10'

によっても、第1実施形態のデジタルカメラ付き双眼鏡10と同様の効果を得ることができる。

【0056】なお、このデジタルカメラ付き双眼鏡10'では、非撮影時は可動ミラー1が光路P₁外に退避するので、光路P₁はNDフィルター16が設けられていない。また、可動ミラー1を駆動するためにミラー駆動モーター3を用いているが、ソレノイドと可動鉄芯からなる電気式駆動手段等を用いて可動ミラー1を駆動する構成でもよい。

【0057】

【発明の効果】以上のように、本発明を適用したデジタルカメラ付き双眼鏡によれば、対物光学系と接眼光学系を各々有する一対の観察光学系と；一方の観察光学系の光路内を通る光束の少なくとも一部を該光路外に反射させる反射手段と；この反射手段により上記光路外に反射された反射光束を、反射光学系を介さず直接受光する撮像素子と；を設ける構成にしたので、従来の銀塩フィルムを用いるカメラ付き双眼鏡でのビームスプリッタと撮像素子の間に配置されたプリズム等の反射光学系を設ける必要が無く、また銀塩フィルムを用いる場合に必要であったフィルム室、カートリッジ室、巻上げ機構、シャッター機構等の機械的要素を設ける必要が無いので、装置の小型化、軽量化、コストダウン等を図ることができる。

【0058】さらに、撮像素子の設置向き及び該撮像素子の撮像面に結像される像の向きがどのような向きであっても、その向きに対応した画像データの読み出し順序を予め設定しておけば常に正立像としての画像を得ることができるので撮像素子や各光学部材の配置の自由度が高い。

【0059】さらに、撮像素子から出力された画像データを蓄積する記憶媒体と；上記撮像素子から出力された画像データの一部のみを上記記憶媒体に蓄積させる制御手段と；を設ける構成にしたので、良像画像の画像データのみを蓄積する構成にすれば記憶媒体の蓄積効率が向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用したデジタルカメラ付き双眼鏡の第1実施形態の観察光学系及び本発明に係る要部のみを示す斜視図である。

【図2】本発明を適用したデジタルカメラ付き双眼鏡の第2実施形態の観察光学系及び本発明に係る要部のみを

示す上面図である。

【図3】第1実施形態及び第2実施形態の各デジタルカメラ付き双眼鏡に設けられた画像記録回路を示すブロック回路図である。

【図4】CCD撮像素子の撮像面に結像される左右反転画像の水平走査による画像情報が、画像メモリのメモリーセルアレイに左右反転画像のビットイメージとして1対1に記録される様子を示す説明図である。

【図5】メモリーセルアレイへの画像データの書き込み及び読み出しの処理を示すフローチャート図である。

【図6】メモリーセルアレイへの画像データの書き込み及び読み出しの処理を示すフローチャート図である。

【図7】メモリーセルアレイに記録された画像データを示す図である。

【図8】図7に示すメモリーセルアレイに記録された画像データから読み出された、円形視野に対応する円形の画像データのみを示す図である。

【図9】メモリーセルアレイに記録された画像データを示す図である。

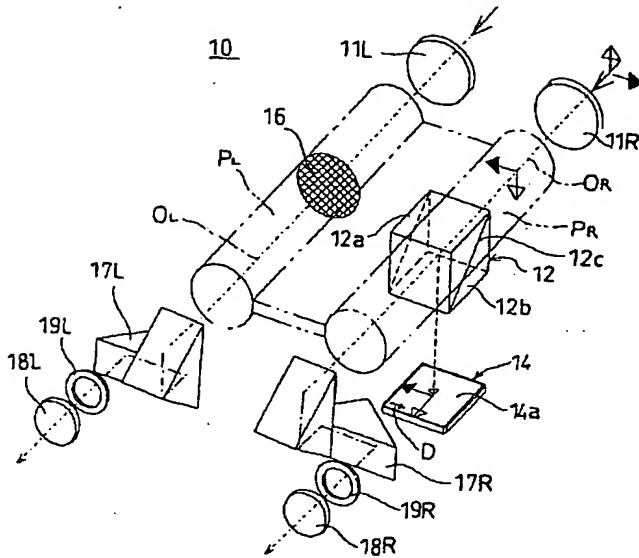
【図10】図9に示すメモリーセルアレイに記録された画像データから読み出された、横長矩形の視野に対応する横長矩形の画像データのみを示す図である。

【図11】本発明を適用したデジタルカメラ付き双眼鏡の第3実施形態の観察光学系及び本発明に係る要部のみを示す斜視図である。

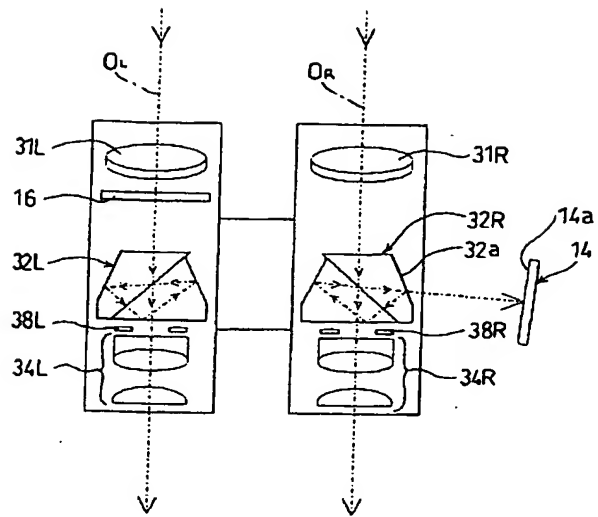
【符号の説明】

10 30 デジタルカメラ付き双眼鏡
11L 11R 対物レンズ群
12 ビームスプリッタ
12c ハーフミラー
14 CCD撮像素子
14a 撮像面
16 NDフィルター
17L 17R ボロプリズム（正立光学系）
18L 18R 接眼レンズ群
19L 19R 視野絞り
31L 31R 対物レンズ群
32L 32R ダハプリズム
32a ハーフミラー（半透明鏡）
34L 34R 接眼レンズ群
38L 38R 視野絞り

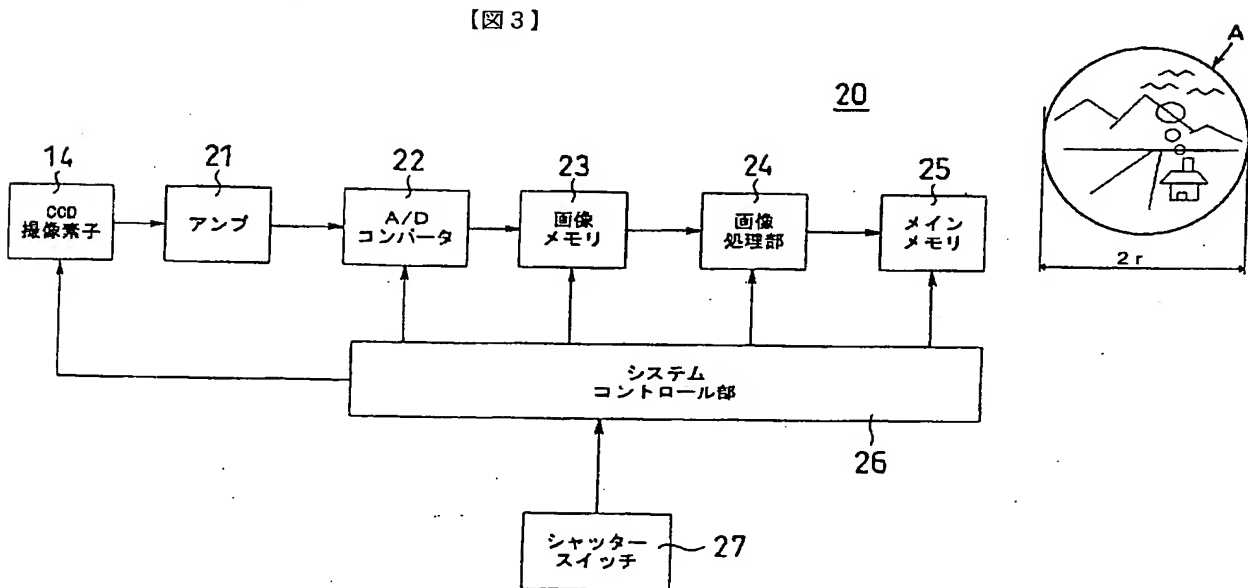
【図 1】



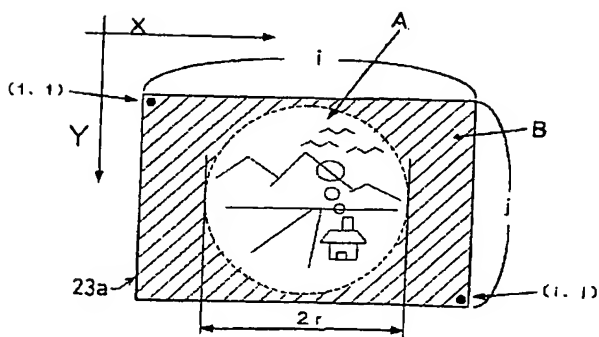
【図 2】



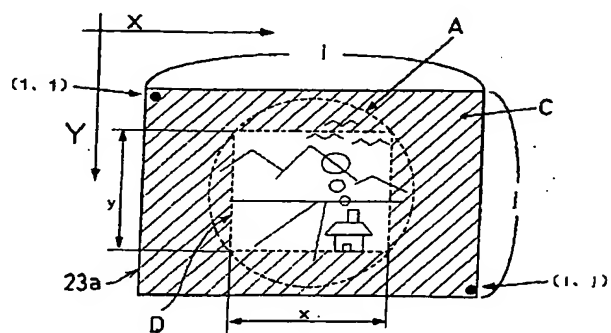
【図 8】



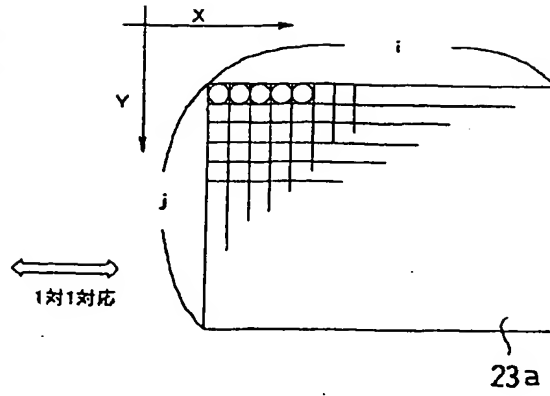
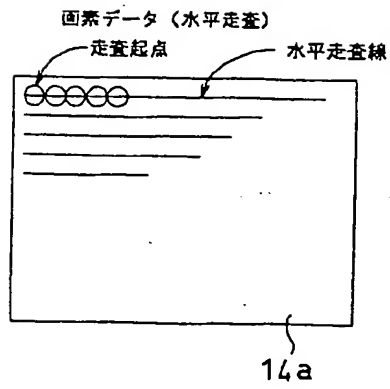
【図 7】



【図 9】

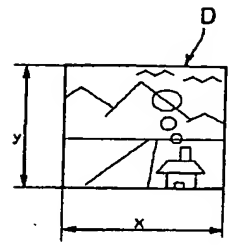


【圖 4】.

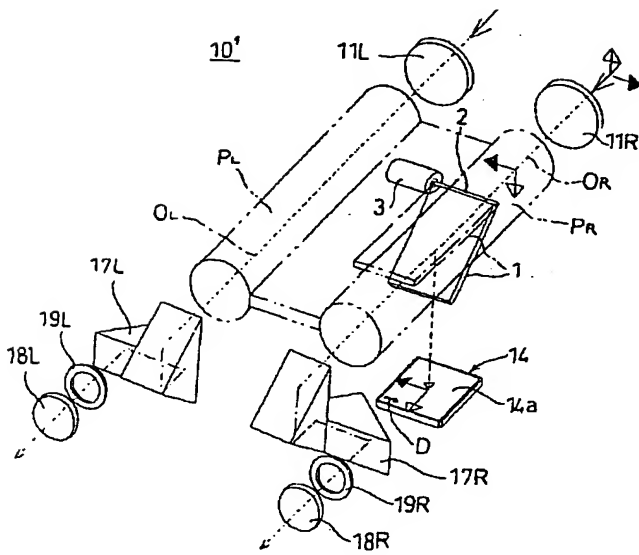


1对1对应

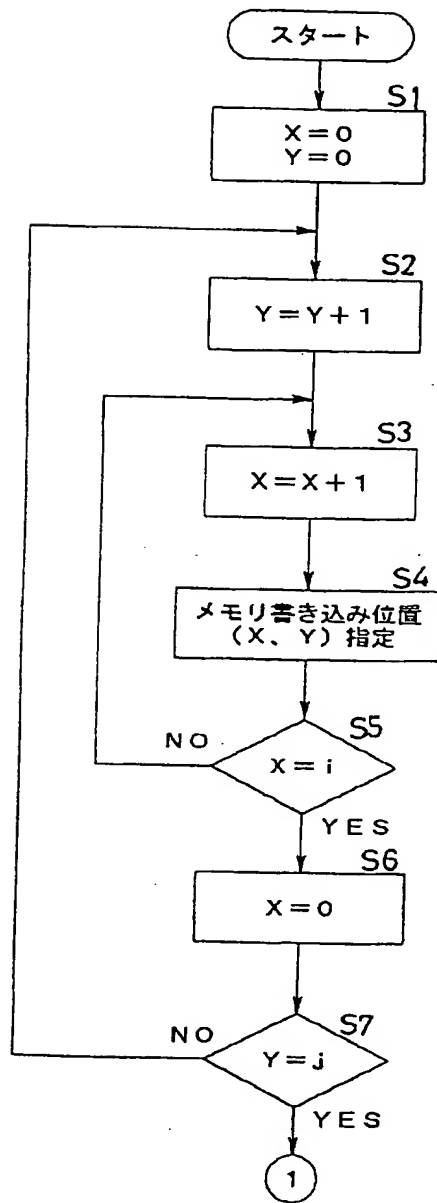
【図 10】



【图 1 1】



【図5】



【図6】

